

平成 17 年 4 月 18 日

各 位

熊本県上益城郡益城町田原 1155-5
株式会社トランスジェニック
代表取締役社長 是石 匡宏
(コード番号 2342 東証マザーズ)
(連絡先) 経営企画室 松平史生
電話番号 092-736-8010

尿サンプルによる癌診断に利用される高感度免疫学的測定系が 体外診断薬開発ステージへ移行

当社は、尿サンプルによる癌診断に利用される体外試薬開発の検討を進めるため、複数の診断薬メーカー等に対して抗ジアセチルスペルミン抗体(1)を有償で提供しております。この度、予備検討で良好な結果が得られ、診断薬メーカー 1 社と製造承認申請に向けて臨床開発を進めていくことについて合意しましたので、お知らせいたします。

現在、各種癌診断には様々な血中マーカーが汎用されておりますが、早期癌に対する感度が高く、かつ簡便で非侵襲的(2)な診断方法が求められております。このような背景のもと、当社は、尿サンプルによる癌診断方法を確立するための研究に取り組んでまいりました。この成果として、平成 17 年 1 月 24 日、尿サンプルによる癌診断に利用される高感度免疫学的測定系に関する特許を出願しております。現在、複数の診断薬メーカー等に、本特許の構成要件である抗ジアセチルスペルミン抗体を有償で提供し、各社で体外診断薬としての測定系確立について検討が進んでおります。

こうしたなか、同年 1 月より体外診断薬開発の予備検討を開始していた診断薬メーカーの測定系において、良好な結果が得られたことを受け、当社は、当該診断薬メーカーと製造承認申請に向けて臨床開発を進めていくことについて合意し、平成 17 年 4 月 18 日、「尿中ジアセチルスペルミン測定試薬開発契約」を締結いたしました。同契約に基づき、当社は、臨床開発および市販後の製造に必要な当該抗体を有償で供給し、当該診断薬メーカーが製造・販売した場合には、ロイヤリティー収入等を得られることになっております。当社は、今後も複数の診断薬メーカー等との間で同様の枠組みを構築してまいります。

なお、現時点においては、当該契約が当社の業績に及ぼす影響は未定であります。

以上

- (1) ポリアミンと総称される成分の尿中排泄量は、以前より癌と関係のあることが示唆されてきました。その中でも、ポリアミンの一種であるジアセチルスペルミンは、他のポリアミンと比べその尿中排泄量と癌との関連性が特に高いことが最近の研究より明らかになっております。
- (2) 採血などと異なり、尿など人間の自然な生理現象等を利用する非侵襲的な診断方法では、診断結果に影響を与える可能性のある外部からの不要な刺激や負担を身体に全く与えることなく診断することが可能です。